

大会規程-1

第3回 川崎市学童軟式野球たまなみ大会 大会運営に関する事項

本大会は、「公認野球規則(2019年)」・「(財)全日本軟式野球連盟の競技者必携(2019年)」および、この「大会運営に関する事項(大会特別規則を含む)」を適用

1. 参加資格

- (1) 平成31年4月1日現在、川崎市少年野球連盟 学童部に加盟している団体(区単位)に所属する小学年齢層の野球チームとする。
- (2) 本大会に出場するチームは、年間を通じて地区大会に出場し、かつ全日本軟式野球連盟および川崎市少年野球連盟 学童部に登録したチームとする。

2. 監督主将会議

監督主将会議には、監督とユニフォーム着用の主将が出席すること。

- ① 監督主将会議では、「組合せ抽選」を行う。
- ② 会議で決められた事項は、チーム全員に必ず周知徹底すること。

3. 大会特別規則

- (1) 試合は7回戦とし、試合開始の「プレイ」宣告後、1時間30分を経過したらそのイニングが最終回とする。
(注) 決められた時間が経過したら、回数に関係なく正式試合とする。
- (2) タイブレーク方式(特別延長戦)
7回を終了して同点の場合、決められた時間が経過して同点の場合はタイブレーク方式を行う。
タイブレーク方式は、継続打順で前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁走者とする。 0アウト1-2塁 2人=17
0アウト一塁・二塁の状態にして、1イニング行い得点の多いチームを勝ちとする。勝敗が決しない場合は、更に継続打順を行い勝敗が決しないときは、抽選で勝敗を決定する。
- (注) 大会運営上7回が終了するか、決められた時間が経過して同点の場合にはタイブレーク方式を行わず、抽選で勝敗を決定する場合もある。
(抽選) 抽選は、OX式とし、O印の多いチームを勝ちとする。
- (3) 得点差によるコールドゲーム
得点差によるコールドゲームは、3回以降10点差・5回以降7点差とする。
(決勝戦は、5回以降7点差)
- (4) 再試合
試合が5回以前に中止になった場合(ノーゲーム)、また5回が過ぎて同点で試合が中止になった場合(正式試合でタイゲーム)の場合、再試合を行う。
ただし、以後の試合日程から試合の勝者は、一日2試合を行うことになる。
- (5) 投手の投球制限
投手の投球については、肘、肩の障害防止を考慮し、1人の投手は一日70球以内を投球できる。継続して70球に達した場合、そのイニングを終了するまで投球できる。

・勝ちチームは地区事務局(小沼町)に連絡

・失球は70球のイニングOK(交代はなし)

・再登板は70球の打者までOK

・二番手も同様(連続70球イニングOK)
たまなみ大会用 1/4

・各チームはカウントし、イニング毎に確認